

2008(平成20)年度重イオン核物性実験装置・イオンビーム分析実験装置マシントイム表

(2008年5月12日決定)

(日付は月曜日)

	5	6		7			8		9			10												
	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27
重イオン	維	D	維学維学維	Z	A学A学A	Z	D	Z	k	A	Z	Z	Z	Z	k	D	Z	A	Z	Z	A			
ビーム分析	Q Q	Z Z	k j p	Z Z	e s t f	Z Z	分Q	Q Z	Z j p	e j	f Q	分	Z Q	分S	Z Z	Q f	j j p	e t	Z k	Z学	Q学	jet		
	10	11	12			2009.1		2		3														
	27	3	10	17	24	1	6	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	2	9	16	23	30	
重イオン	k	Z	Z	D	Z	k	A	Z	Z	×	Z	Z	D	分	分	Z	Z	Z	k	A	維	維	×	
ビーム分析	Z Z	Q学	k学	j Z p	Z Z	Z Q	s e	j t	Z Z	×	Z Z	e f	k Q	Z Q	f Z	分Q	e	Z	f Q	Z j p	j	維	×	

註：pはプロトン、はヘリウムイオンを使用する事を表します。

略号	実験題目、所属、実験責任者、連絡者、TEL	略号	実験題目、所属、実験責任者、連絡者、TEL	略号	実験題目、所属、実験責任者、連絡者、TEL
A	イオンビームによる核材料の研究 工、原子核工学 高木郁二(16-5838) 上山(16-5294) 小林(16-5833)	e	物理蒸着した薄膜試料の組成分析 工、機械理工学 井手亜里(16-5259) 井川(16-5257)	t	イオンビームを用いて作成した薄膜の結晶性及び組成の解析 工、光・電子理工学教育研究センター 高岡義寛(15-2329) 龍頭(15-2339)
D	エネルギー材料の照射と分析 工、原子核工学 森山裕丈(16-5824) 森谷(16-5837) 上山(16-5294)	f	PLD法で作成した酸化物薄膜の結晶性と組成分析 工、材料化学 藤田晃司(15-2432) 的場(15-2426)	学	原子核工学コース学生実験 工、原子核工学 河原全作(16-5842) 柴田(16-3354) 今井(16-5846) 土田(17-4895)
Q	高速イオン照射による生体高分子試料の二次イオン質量分析 工、量子理工学研究実験センター 松尾二郎(17-3977) 中田(17-3977)	j	イオンビーム装置とその応用に関する研究 工、電子工学 後藤康仁(15-2279) 宮田、服部(15-2274)	分	イオンビームによる分析支援サービス 工、量子理工学研究実験センター 伊藤秋男(17-3971) 土田(17-4895)
Z	真空内液体標的の粒子線衝突反応、量子ビーム生体高分子衝突反応の素過程解明、照射環境下物質の過渡現象のその場観察、大気PIXE分析の高度化利用 工、原子核工学 伊藤秋男(17-3971) 柴田(16-3354) 今井(16-5846) 土田(17-4895) 金田、水野	k	高速イオンと表面の相互作用 工、マイクロエンジニアリング 木村健二(16-5253) 中嶋(16-5268)	維	予備、加速器性能維持、保守点検 維持グループ 伊藤秋男(16-5821) 柴田(16-3354) 松尾(17-3977) 高木(16-5838) 神野(17-4894) 今井(16-5846) 土田(17-4895) 法沢(17-4887)
		S	金属薄膜/半導体における界面反応 工、材料工学 白井泰治(16-5466) 伊藤(16-5472) 小濱(16-5482)		【電話】学外からは次のようにダイヤルして下さい。 15-XXXX 075-383-XXXX (桂) 16-XXXX 075-753-XXXX (吉田) 17-XXXX 0774-38-XXXX (宇治)

マシンタイム始めと終わりの月曜日には必ず加速器利用者懇談会に出席して下さい。(重イオン2階、午前9時30分より)【京都大学大学院工学研究科附属量子理工学研究実験センター】